

東高相撲 インターハイ初V



優勝した瞬間、雄叫びを上げガッツポーズをして喜ぶ選手たち = 佐賀県玄海町（北國新聞社提供）

選抜に続く全国制覇

個人矢鋪3位

佐賀県で行われた全国高校総体（インターハイ）の相撲競技に参加した金沢学院東高校チームは8月4日、団体戦で初優勝し、今年3月の全国高校選抜大会に続く全国制覇を成し遂げました。石川県勢の総体制覇は18年ぶり2度目。前日の個人戦では矢鋪光太郎選手（3年）が惜しくも2年連続で3位となり、悲願の優勝はならなかったものの、団体優勝へ弾みをつけました。

1回戦	4	1	近大付(大阪)
2回戦	5	0	小豆島(香川)
準決勝	3	2	鳥羽(京都)
準決勝	4	1	報徳学園(兵庫)
決勝	3	2	鳥取城北(鳥取)

決勝の鳥取城北とは選抜大会でも優勝旗を争った因縁の対戦。東高校は先鋒と中堅戦に敗れて王手をかけられたものの、副将の矢鋪が落ち着いた取り口で大将戦につなぎ、袖川が潜り込もうとした相手をはたき込んで栄冠を手に入れました。大澤恵介監督は「金沢大会の決勝で敗れた挫折が強い精神力を生んで今回の優勝に結びついた。勝つてかぶとの緒を締め直し、十和田、宇佐、国体も勝ちにきたい」と話しています。



部員に胴上げされる大澤監督（北國新聞社提供）

トランポリン 女子団体V 11

福島県で開かれた第32回全国高校トランポリン選手権に出場した金沢学院東高校チームは、女子団体で3年連続11回目の優勝果たし、女子シンクロでも高山愛・今井美樹組が優勝しました。また、男子の最高演技賞を島田諒太君が獲得しました。男子団体は2位となり、3年連続の団体アベック優勝は逃しました。

玉井教授が国際水工学会会長に



玉井会長（中央）と新副会長ら = ヴェニス

七月にヴェニスで開かれた第三十三回国際水工学会（IAHR）国際大会で、金沢学院大学の玉井信行教授が日本人では二人目の会長に選ばれました。任期は二年間の見込みです。IAHRは一九三五年の設立で、水に関する国際学会では最も歴史が古く、世界水フォーラムの開催など科学的な知見に基づいた活動や、各国への提言作成に貢献しています。

10日オープンキャンパス
金沢学院大学・短期大学の2007オープンキャンパス第二回は八月十日、金沢市末町のキャンパスで行われます。学科説明会、オープン授業、キャンパスツアーのほか、ランチアワーでは学食メニュー、焼きそばパンなどを試食できます。詳しくは下記URLへ。

発行・広報室